

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するこころのケア  
～不妊外来に通院されている皆様へ～

第3報

新型コロナウイルス感染症に関して、通院される患者様におかれましてはいろいろ不安をかかえておられることと思います。

第1報で皆様に日本生殖医学会より声明について書きました。その内容は

『本ウイルスの母体から胎児への感染の可能性が不明であること』、『妊婦において重症化の可能性が  
あること』などから、『医師は不妊治療を延期するかどうかを患者様と相談すること』、および『採卵を予  
定している場合はできるだけ胚凍結をお勧めすること』などが推奨されています。

(<http://www.jsrm.or.jp/announce/187.pdf>)

でした。しかし、同時に2020年4月1日付として厚生労働省から、新型コロナウイルスが妊娠に与え  
る影響について以下の内容がリーフレットに記載されています。

『現時点では、妊娠後期に新型コロナウイルスに感染したとしても、経過や重症度は妊娠していない方  
と変わらないとされています』、『胎児のウイルス感染症例が海外で報告されていますが、胎児の異常や  
死産、流産を起こしやすいという報告はありません』、『したがって、妊娠中でも過度な心配は要りませ  
ん』。( <https://www.mhlw.go.jp/content/11925000/000618011.pdf> )

この二つを見るだけでも、かなり情報が錯綜し、混乱していることがわかると思います。

COVID-19についてはまだわからないことがたくさんある、ということです。現在、感染した場合に  
試行しているお薬は妊娠中の方には禁忌のお薬であることには変わりはありません。感染に対する特効薬  
はなく、対症療法（症状の治療：熱がでたら熱を下げる、咳が出たら席を鎮める、痰を取り除く…な  
ど）しか方法はありません。それらのことを考慮すると、急速な感染拡大の危険がなくなるまで、ある  
いは妊娠時に使用できるCOVID-19予防薬や治療薬が開発されるまでを目安として、不妊治療の延期を  
選択肢として提示するということには変わりはありません。

予防や今後の治療について患者さんご自身の行動や決断に大きなご自身の責任が伴っていきます。いつ  
も申し上げますが、不妊治療は妊娠することがゴールではありません。妊娠中から出産、育児含めてご  
夫婦でよく話し合ってください。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染の予防について厚生労働省のHPに記載されています。

( [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html) )

是非ご参照ください。

患者さんも病院スタッフも感染防止にむけて努力しましょう。

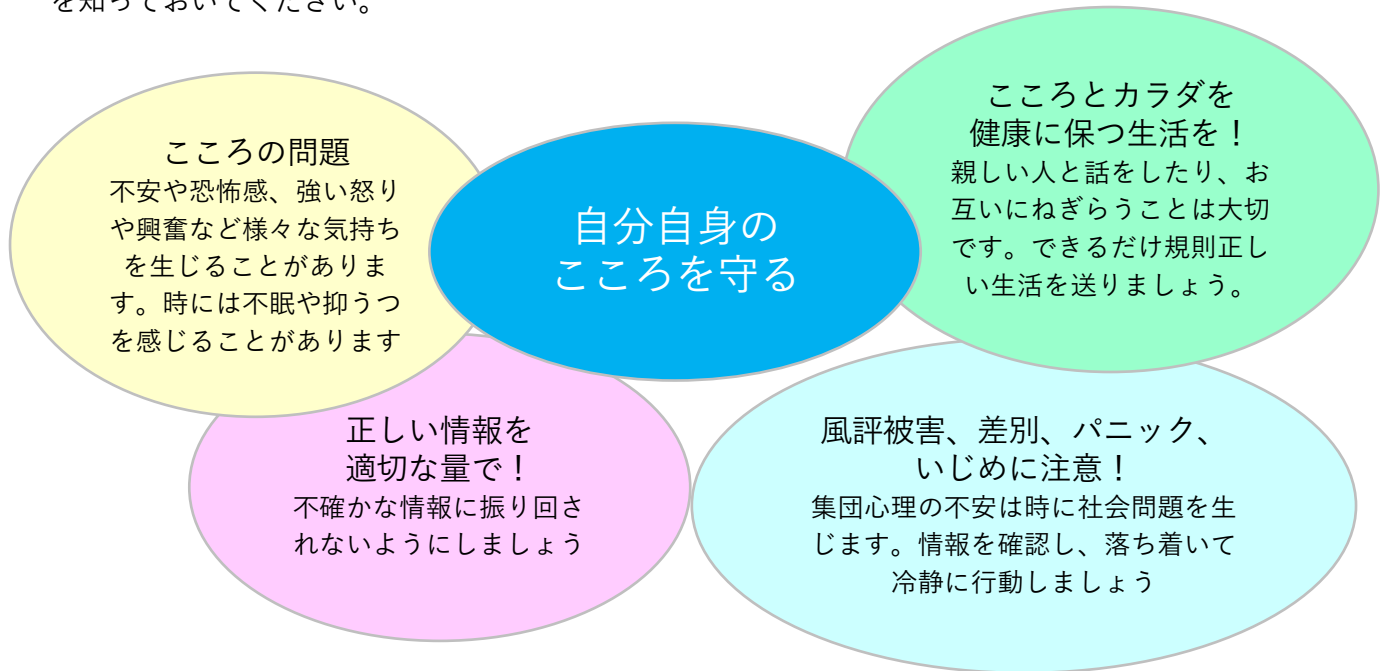
- 1) マスクの着用
- 2) 頻回な手洗い
- 3) 自覚症状の自己申告（早めに！）
- 4) 少しでも発熱・倦怠感・咳・味覚障害・嗅覚障害などの体調不良がある場合は、来院を控える

不妊カウンセラーとして私は「こころのケア」として触れておきたいと思います。



このような集団感染は災害の一つとされています。

感染を予防することはもちろんですが、感染拡大の現在の状況が続くと心にも大きな負担がかかることを知っておいてください。



ご家族や親しい方、ご近所や職場に感染された方がいらっしゃったり、もしかしたら感染のリスクがあるのではないかと大きな不安の中で日々の大切な活動（お仕事含めて）をされている方もたくさんいらっしゃると思います。

ひとりひとり皆同じです。決して無理をせず休息をとりながら活動してください。不安な気持ちを共有できる仲間やお互いにねぎらい孤独にならないように、精神的につらくならないようにしてください。

不妊治療を中止せざるを得ない方々は、この先の見通しや妊娠に向けて大きな不安や焦りを持つ方もいらっしゃると思います。出来る限り皆様のそばにいたいと思いますが不妊カウンセリングは不要不急という位置づけです。

お電話でのカウンセリングはできませんし、病院に出入りすることによる感染のリスクは0ではありません。

こんな不安なタイミングだからこそカウンセリングを…と言いたいところですが苦しいところです。

それでもどうしようもなく今後の治療について心配な場合は、不妊外来や不妊カウンセリング外来をご予約の上ご利用下さい。ただし受診前に体温測定と症状をご自分で必ず確認し、症状のある場合はご利用を控えていただけるようお願いいたします。

当院の不妊診療に携わるすべての医師、看護師、胚培養士、多くの医療スタッフや不妊カウンセラーは皆様の健康はもとより、何とかこの事態が終息し通常の不妊診療が可能になることを心から願っています。

(2020年4月7日 不妊カウンセラー枝元 記)

筑波大学附属病院 茨城県災害・地域精神医学研究センター

「新型コロナウイルス（COVID-19）に関するこころのケアについて」

<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/care.html>

厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について

[https://mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/00164708\\_00001.html](https://mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/00164708_00001.html)

日本生殖医学会：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する声明 2020年4月1日版

<http://www.jsrm.or.jp/announce/187.pdf>

International Committee for Monitoring Assisted Reproductive Technology (ICMART) 声明文の和訳 <https://www.icmartivf.org/news/>